

国保総合システム  
異動データ等検証作業について

平成22年12月3日

第1.0版

北海道国民健康保険団体連合会

---



【目次】

1. はじめに.....	1
2. 異動データ等検証の流れ.....	2
3. 異動データ等送信、検証結果受信手順.....	7
4. 検証結果の報告様式.....	8
5. 異動データ等検証内容.....	13

---

## 1. はじめに

国保総合システム導入に伴い、被保険者全件異動データならびに、個人番号対応表（員番管理⇒個人番号管理への変更を要望する保険者のみ）のデータ作成を進めていると存じます。

先の事務連絡において、被保険者全件異動データのみのチェックを行う異動データチェックツールを配布しましたが、導入作業を円滑に進めていくために、被保険者全件異動データ、個人番号対応表、レセプト、過誤・再審査、資格照合データ等のデータ整合性を確保することが次の段階として必要となります。

データ整合性の確保にあたっては、本会において各種のデータ検証を行い、保険者へ検証結果の報告を実施します。保険者においては、これら検証結果をもとにデータ確認・修正作業を行ってください。

## 2. 異動データ等検証の流れ

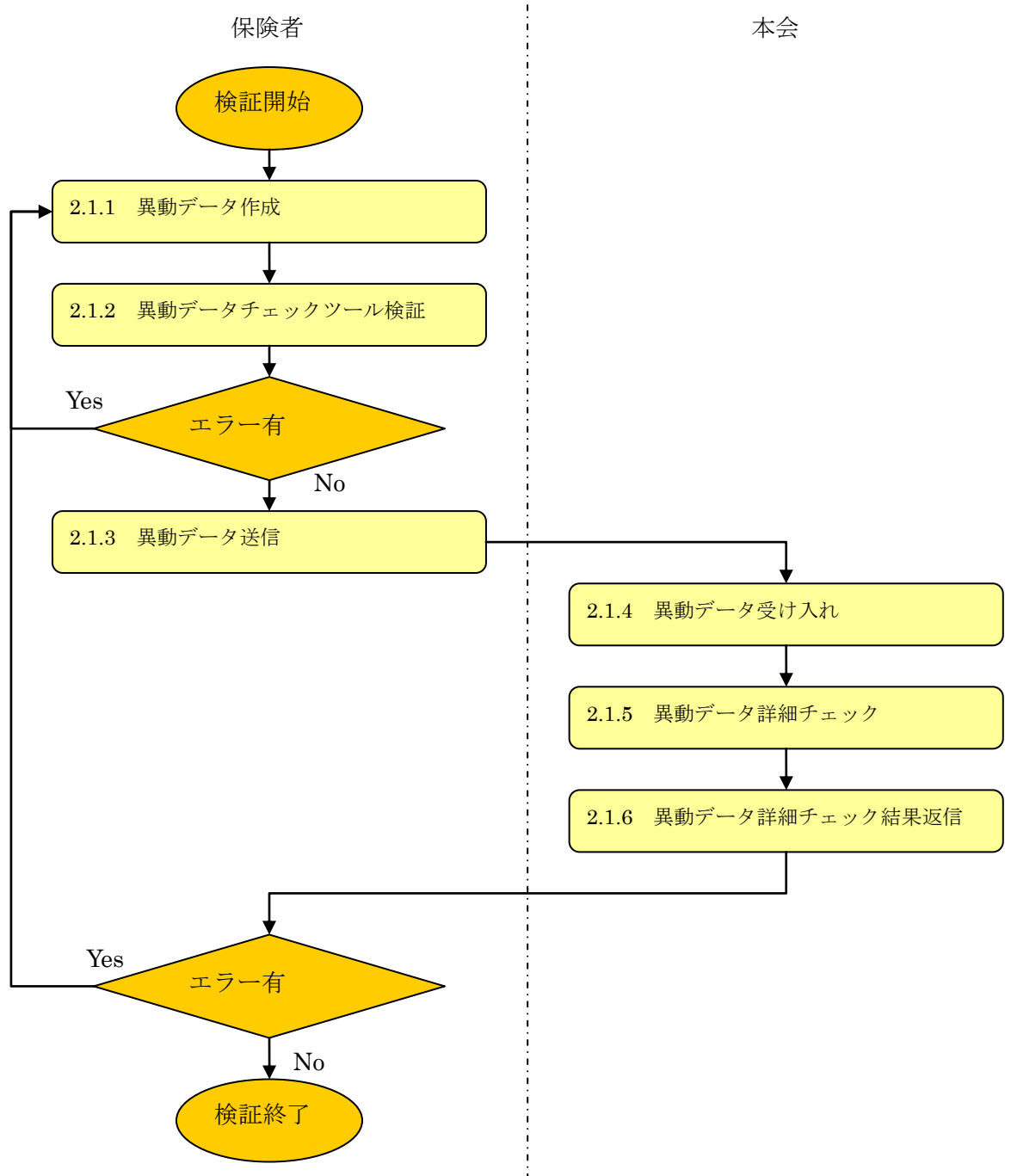
本章では、異動データ等の検証の流れについて説明します。

全保険者で必要となる作業と、個人番号管理を希望する保険者のみ必要となる作業、それぞれについて説明します。

本会に送信したデータの検証については、データ受け取りより1週間を目安に返信します。保険者におきましては、本会より返却された検証結果をもとに、個人番号対応表のみ送信した保険者は1週間、異動データを含むデータを送信した保険者は2週間を目安に確認・修正作業を実施いただけるようお願いいたします。修正作業が遅れる場合については、提出時期についてご連絡いただけますようお願いいたします。

2. 1 全保険者で必要となる作業

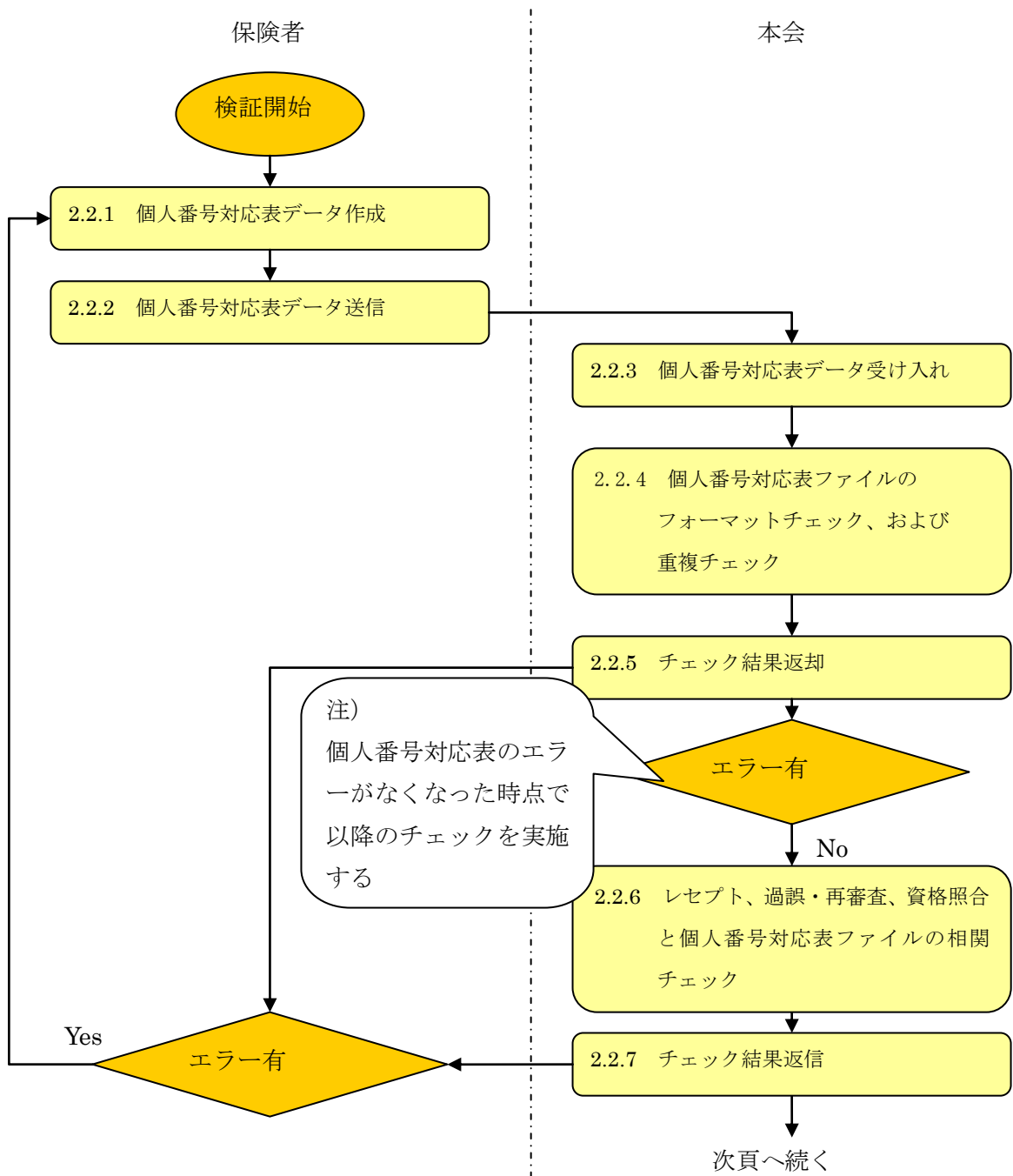
異動データについては全保険者で作成いただき、本会へ送付いただきます。本会では、P 1 3 「表2. 検証内容一覧」の「①異動データ詳細チェック」を実施し、その結果を返却します。エラーがなくなるまでこれらの作業を繰り返します。

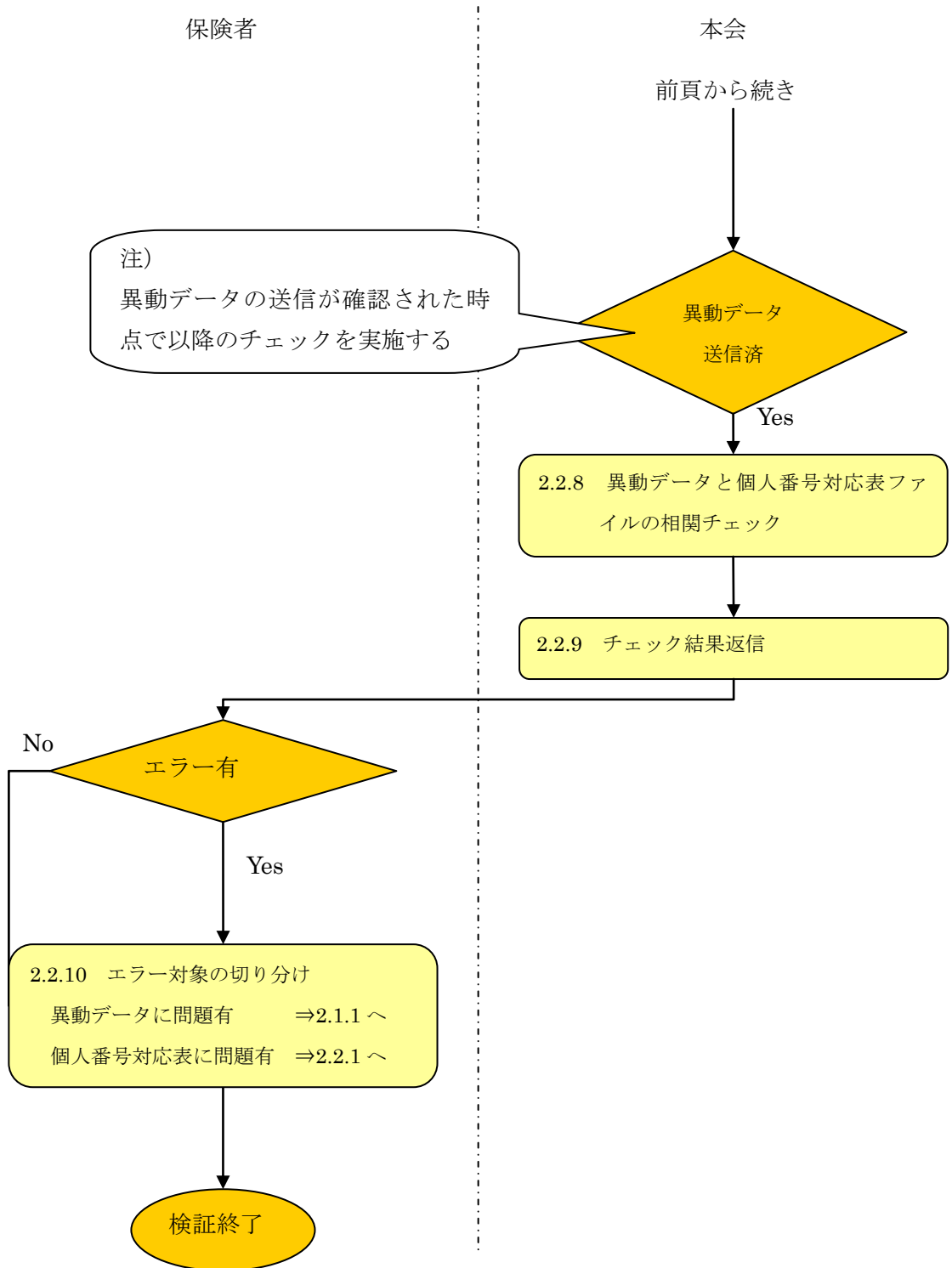


2. 2 個人番号管理を希望する保険者のみ必要となる作業

個人番号管理を希望する保険者の場合、P 3 「2. 1 全保険者で必要となる作業」の作業に加え、個人番号対応表に関連するデータ検証が必要となります。

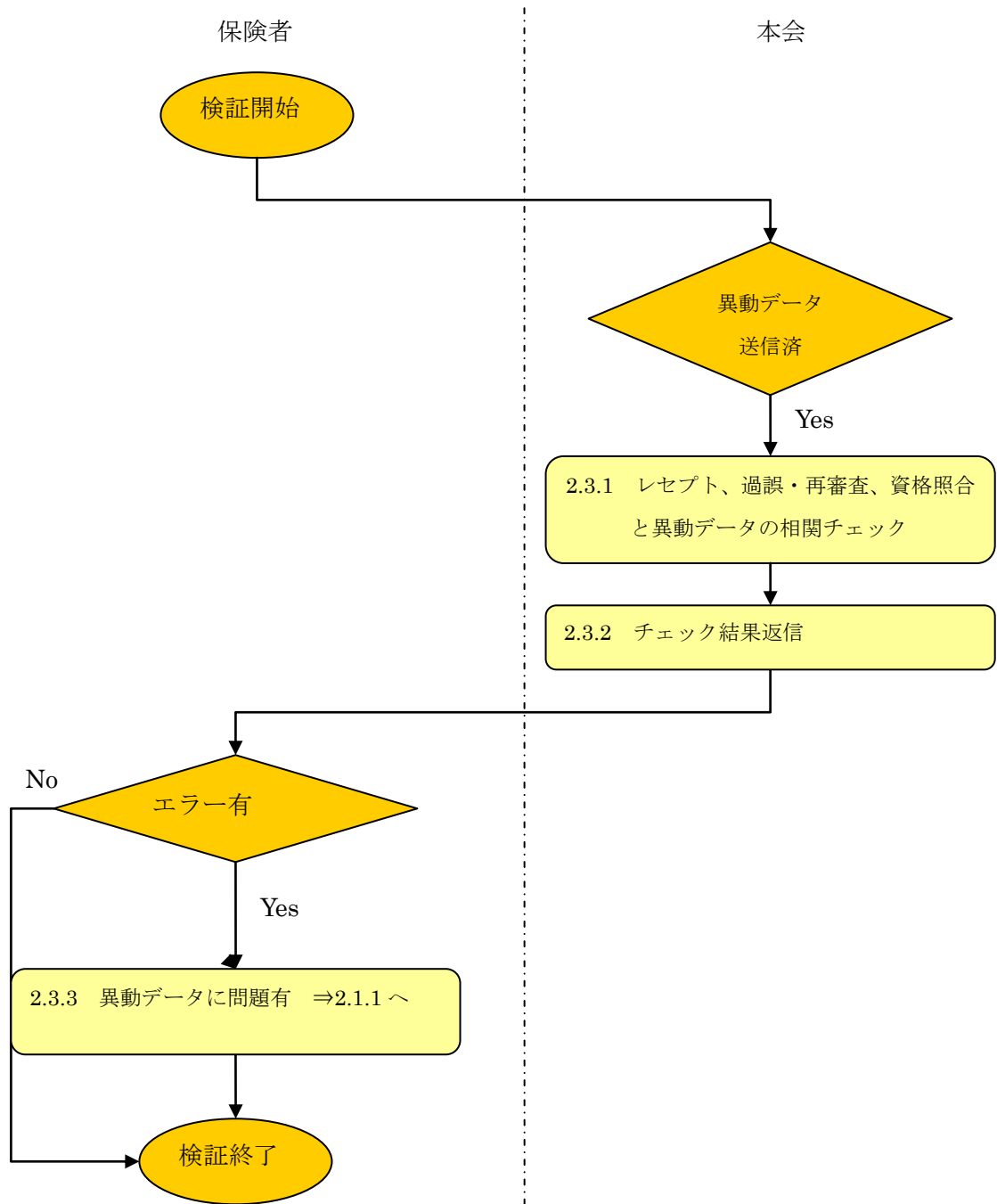
保険者にて個人番号対応表を作成し、本会へ送信します。本会では、P 1 3 「表 2. 検証内容一覧」の「②～④」のチェックを実施し、その結果を返信します。エラーがなくなるまでこれらの作業を繰り返します。





2. 3 個人番号管理を希望しない保険者のみ必要となる作業

個人番号管理を希望しない保険者の場合、P 3「2. 1 全保険者で必要となる作業」の作業に加え、本会においてP 13「表2. 検証内容一覧」の「③ レセプト、過誤・再審査、資格照合と異動データの相関チェック」を実施し、その結果を返信します。エラーがなくなるまでこれらの作業を繰り返します。



### 3. 異動データ等送信、検証結果受信手順

異動データ等のデータ送信、および検証結果の受信方法については、医療保険ネットワークに接続済みの端末からオンラインで送受信を行う方法（以下、オンライン送受信方式）と、媒体にて送付する方式（以下、媒体送付方式）の2種類の方式といたします。

#### 3. 1 オンライン送受信方式

医療保険ネットワーク接続済みの端末より、「保険者 Web システム」を通じてファイルの送受信を行います。具体的な手順については、平成 22 年 11 月 9 日付け事務連絡「国保総合システム 異動データ等授受手順」を参照してください。

#### 3. 2 媒体送付方式

異動データおよび検証結果ファイルを外部媒体に出力し、郵送にて授受を行います。

注意事項：

- ①媒体に異動データ等のファイルを格納する場合は、ZIP 圧縮を行い格納してください（検証結果報告ファイル名と同様のファイル名としてください）。
- ※ 平成 23 年 2 月まで送信するファイル名の西暦年月部分については、「201010」としてください。本会から返信するファイルについても「201010」となっておりますので、保存の際にはご注意ください。
- ②利用媒体については、MO、FD、CD-R、DVD-Rのみとします。  
返却用媒体は本会にて準備し、郵送にて送付いたします。
- ③保険者からの送付媒体については、移行作業完了時（H23. 5 予定）に保険者へ返却します。

#### 4. 検証結果の報告様式

本章では、本会での検証結果の報告様式について説明します。

検証結果については、複数の結果ファイルを取りまとめ、ファイル圧縮（パスワード付き ZIP 圧縮）した状態で保険者へ返信します。

※ パスワードは保険者 Web でログイン時に使用するパスワードです。

検証結果報告ファイル名：DT\_IF010xxxxxxYYYYMMzzz.zip

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

zzz　　：連番（001からの連番）

検証結果報告ファイル内には、データ検証結果概要（各ファイル件数やエラー件数等の総括）を示す下記のファイルを併せて報告します。

※ 異動データチェックツール等に関連したエラーについて P 1 2 に掲載しておりますので参照ください。

表 4. 1 データ検証結果概要ファイル

ファイル名：DT\_IF002xxxxxxYYYYMM.xls

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

番号	項目名	件数
1	異動データ（世帯）入力件数	異動データ（世帯）の入力件数を記載します。
2	異動データ（個人）入力件数	異動データ（個人）の入力件数を記載します。
3	個人番号対応表入力件数	個人番号対応表の入力件数を記載します。
4	異動データ詳細チェック	異動データ詳細チェックのエラー件数を記載します。
5	個人番号対応表フォーマットチェック	個人番号対応表ファイルのフォーマットチェックのエラー件数を記載します。
6	個人番号対応表重複チェック	個人番号対応表ファイルの重複チェックのエラー件数を記載します。
7	異動データと個人番号対応表の相関チェック	エラー発生件数を記載します。（クリティカルエラー、ケアエラー分を分けて表示する）
8	個人番号対応表（または異動データ）とレセプトチェック	エラー発生件数を記載します。（クリティカルエラー、ケアエラー分を分けて表示する）
9	個人番号対応表（または異動データ）と過誤・再審査チェック	エラー発生件数を記載します。（クリティカルエラー、ケアエラー分を分けて表示する）
10	個人番号対応表（または異動データ）と資格照合チェック	エラー発生件数を記載します。（クリティカルエラー、ケアエラー分を分けて表示する）

国保総合システム異動データ等検証作業について

表 4. 2 重要事項連絡および異動データ精査チェックエラー一覧

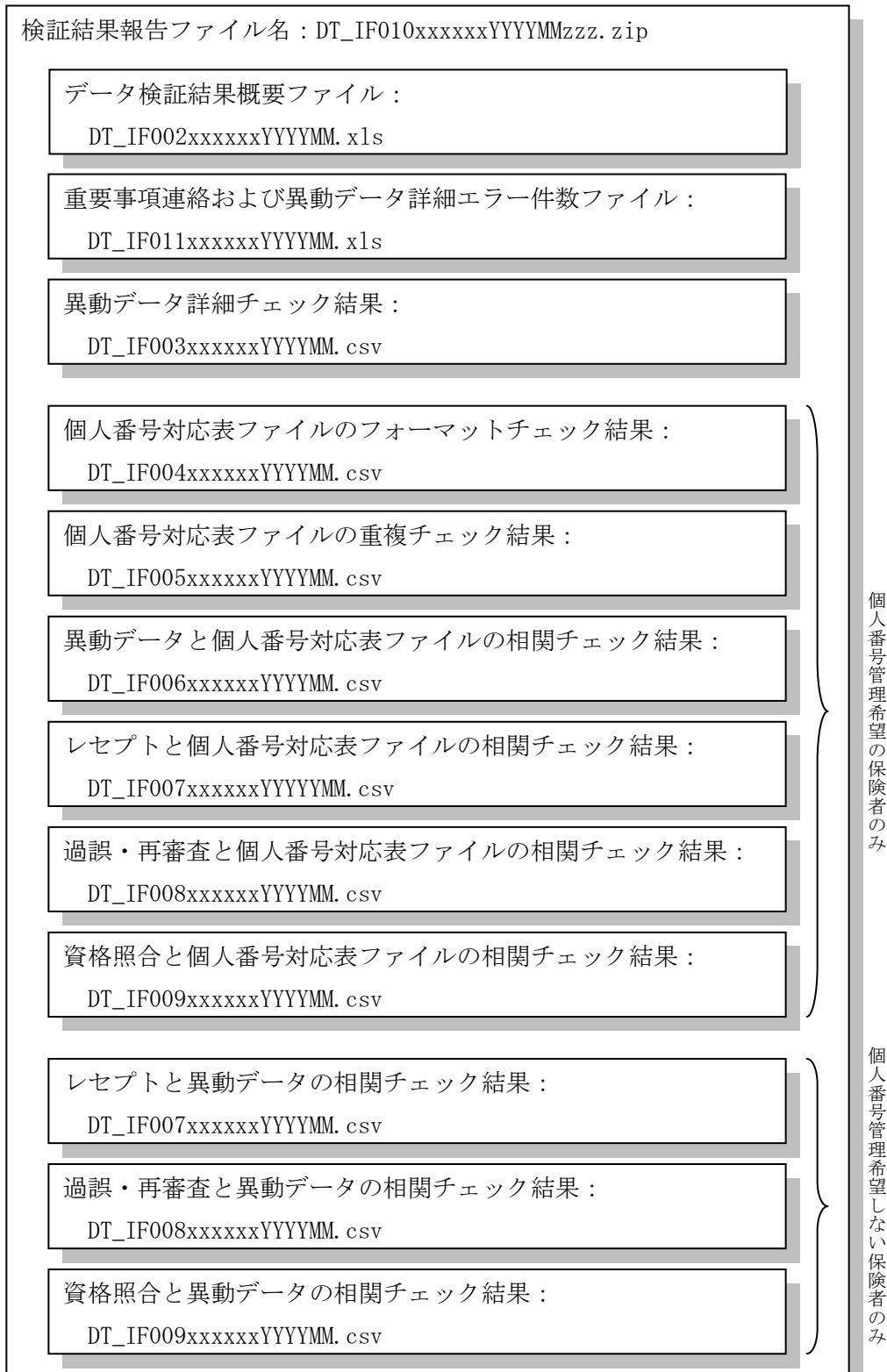
ファイル名：DT\_IF011xxxxxxYYYYMM.xls

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

番号	項目名	件数
1	異動データ受入検証実施に関わる重要事項	異動データ受入検証実施にあたり、ファイル形式誤り等の正常な検証が実行できないような誤りを記載します。
2	エラー総件数	異動データ詳細チェックのエラー総件数を記載します。
3	エラー件数	異動データ詳細チェックの各エラーに対するエラー件数を記載します。
4	エラーコード	異動データ詳細チェックのエラーコードを記載します。
5	エラー内容	異動データ詳細チェックのエラー内容を記載します。

図 4. 1 検証結果報告ファイルイメージ



異動データは事前に配布したチェックツールでエラーがない状態のものを送信していただく想定ですが、確認のため、異動データの詳細チェック前に同様のチェックツールにてフォーマットチェックを行っております。チェックエラーが出力された場合、以下に記載のフォーマットチェック結果ファイルを出力します。このエラーが大量に発生すると後続の処理が遅延することになりますので、異動データ送信前に確実にチェックを実施しエラーを解消していただくようお願いします。

なお、今回行う異動データ検証作業にてエラーが発生しなかった結果ファイルについては、結果報告ファイル内に掲載しません。

個人番号対応表のフォーマットチェック、重複チェックにてエラーが出力された場合、後続の処理（インターフェース ID：DT\_IF006、DT\_IF007、DT\_IF008、DT\_IF009 のチェック）は行いません。

フォーマットチェック結果ファイル名：

- KD\_IF020xxxxxxYYYYMM\_result.csv
- KD\_IF021xxxxxxYYYYMM\_result.csv
- CorrelationCheck\_result.csv

※ 異動データチェックツールを使用した際の結果ファイル名と同様です。

## 5. 異動データ等検証内容

本章では、本会で実施する異動データ等の検証内容について記載します。  
 保険者においては、各検証結果を確認し、不備データの修正を行ってください。

表5. 検証内容一覧

番号	検証内容	検証 タイミング	対象保険者
①	異動データ詳細チェック (国保総合システム データ精査チェック)	異動	全保険者
②	個人番号対応表ファイルのフォーマットチェック 個人番号対応表ファイルの重複チェック	個人番号	個人番号管理を 希望する保険者
③	レセプト、過誤・再審査、資格照合と異動データの 関連チェック	異動	個人番号管理を 希望しない保険者
	レセプト、過誤・再審査、資格照合と個人番号 対応表ファイルの関連チェック	個人番号	個人番号管理を 希望する保険者
④	異動データと個人番号対応表ファイルの関連 チェック	異動+個人番号	個人番号管理を 希望する保険者

凡例：

検証タイミング：

異動 : 異動データが送信された時点

個人番号 : 個人番号対応表が送信された時点

異動+個人番号 : 異動データおよび個人番号対応表がともに送信された時点

5. 1 個人番号対応表ファイルのフォーマットチェック

個人番号対応表ファイルのフォーマットチェック（必須指定、項目の属性、項目長等のチェック）を実施します。フォーマットエラーとなったデータは、以下のフォーマットに従い CSV 形式のエラーログとして出力されます。

エラー検出された場合、個人番号対応表ファイルを修正し、再送信ください。

表 5. 1. 1 個人番号対応表ファイルのフォーマットチェック結果

ファイル名：DT\_IF004xxxxxxYYYYMM.csv

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

番号	項目名	設定値
1	エラー発生行	エラーが発生しているレコードの、ファイルの中のレコード行を記載する。
2	エラー名称	エラー名称を記載する。(P15 表 5.1.2 参照)
3	保険者番号	保険者番号を記載する。
4	被保険者証番号	被保険者証番号を記載する。
5	員番	員番を記載する。
6	個人番号	個人番号を記載する。
7	項目名称	項目名称を記載する。
8	項目値	項目の値を記載する。

表5. 1. 2 個人番号対応表ファイルのフォーマットチェックのエラー名称と修正例

番号	エラー名称	修正例
1	囲み文字チェックエラー	最初の1文字目以降に囲み文字「”」が存在していません。値を終了させる囲み文字を設定してください。 例) 保険者番号["00019999"] 終了させる囲み文字が入っていないのでエラーと判定します。 例) 保険者番号["00019999"] 終了させる囲み文字が入っているため正常と判定します。
2	入力項目数が不正です。(データ項目数=[ ] フォーマット項目数=[7])	正しい項目数(7項目)で設定されていません。7項目で設定してください。 例) 00019999, 123, 01, 10001, 4101010, 1 最後のカナ氏名は空白を認められている場合でも、最後に「,」がないと6項目しか設定していないとみなされエラーと判定します。 例) 00019999, 123, 01, 10001, 4101010, 1, 最後に「,」が入っているため7項目とみなされ正常と判定します。
3	必須チェックエラー	必須設定の項目に値が設定されていません。値を設定するようにしてください。 例) 保険者番号[ ] 値が何も入っていないのでエラーと判定します。 例) 保険者番号[00019999] 値が入っているため正常と判定します。
4	桁数完全一致チェックエラー(データ桁数=[ ] フォーマット桁数=[ ])	設定されている項目の桁数(項目の長さ)が一致していません。規定の桁数を設定してください。( )内のデータ桁数は設定されている桁数、フォーマット桁数は規定の桁数が表示されています。 例) 員番[1] 2桁設定の項目に1桁で設定しているためエラーと判定します。 例) 員番[01] 2桁で設定されているため正常と判定します。

国保総合システム異動データ等検証作業について

5	桁数範囲内チェックエラー(データ桁数=[ ] フォーマット桁数=[ ])	<p>設定されている項目の桁数(項目の長さ)を超えています。規定の桁数以内で設定してください。( )内のデータ桁数は設定されている桁数、フォーマット桁数は規定の桁数が表示されています。</p> <p>例) 被保険者証番号[1234567890123] 12文字以内で設定する項目に13文字で設定しているのでエラーと判定します。</p> <p>例) 被保険者証番号[12345] (12文字以内) 12文字以内の5文字で設定しているので正常と判定します。</p>
6	属性(数値)チェックエラー	<p>設定されている項目の属性(数値)が合っていません。正しい属性を設定してください。</p> <p>例) 個人番号[1000a] 数値属性に英語が設定されているのでエラーと判定します。</p> <p>例) 個人番号[10001] 数字のみで設定しているので正常と判定します。</p>
7	属性(英数)チェックエラー	<p>設定されている項目の属性(英数)が合っていません。正しい属性を設定してください。</p> <p>例) 員番[あ] 英数属性に全角かなが設定されているのでエラーと判定します。</p> <p>例) 員番[01] 英数のみで設定しているので正常と判定します。</p>
8	属性(半角)チェックエラー	<p>設定されている項目の属性(半角)が合っていません。正しい属性を設定してください。</p> <p>例) カナ氏名[コクホ タロウ] 半角文字属性に全角文字が設定されているのでエラーと判定します。</p> <p>例) カナ氏名[コクホ タロウ] 半角文字のみで設定しているので正常と判定します。</p>
9	属性(全角/半角)チェックエラー	<p>設定されている項目の属性(全角/半角)が合っていません。正しい属性を設定してください。</p> <p>例) 被保険者証番号[123] 全角文字と半角文字が混在して設定しているのでエラーと判定します。</p> <p>例) 被保険者証番号 [1 2 3]または[123] 全角文字のみ、または半角文字のみで設定しているので正常と判定します。</p>

10	属性(日付)チェックエラー	<p>設定されている項目の属性(日付)が合っていません。正しい属性を設定してください。</p> <p>例) 生年月日[4100431] 月日部分にありえない日付「平成10年4月31日」が設定されているのでエラーと判定します。</p> <p>例) 生年月日[4101010] 実在する日付を設定しているため正常と判定します。</p>
11	設定値チェックエラー(チェック仕様記載以外の値)	<p>設定されている項目の設定値が許可されたコードではありません。規定の設定値を設定してください。</p> <p>例) 性別[3] 性別(「1」または「2」のみ設定可能)に「3」が設定されているためエラーと判定します。</p> <p>例) 性別[1] 設定可能な「1」が設定されているため正常と判定します。</p>

5. 2 個人番号対応表ファイルの重複チェック

個人番号対応表ファイルの重複チェック(保険者番号、被保険者証番号、員番、生年月日、性別をキーとした重複チェック)を実施します。重複エラーとなったデータは、以下のフォーマットに従いCSV形式のエラーログとして出力されます。エラー検出された場合、個人番号対応表ファイルを修正し、再送信ください。

表5. 2. 1 個人番号対応表ファイルの重複チェック結果

ファイル名: DT\_IF005xxxxxxYYYYMM.csv

xxxxxx: 保険者番号

YYYYMM: 西暦年(4桁) + 月(2桁)

番号	項目名	設定値
1	保険者番号	保険者番号を記載する。
2	被保険者証番号	被保険者証番号を記載する。
3	員番	員番を記載する。
4	生年月日	生年月日を記載する。
5	性別	性別を記載する。
6	件数	重複しているレコード件数を記載する。

5. 3 異動データと個人番号対応表ファイルの関連チェック

異動データ（個人）と個人番号対応表ファイル間で保険者番号、被保険者証番号、個人番号をキーとし、互いに被保険者情報の存在チェックを実施します。存在しなかった被保険者情報は、以下のフォーマットに従い CSV 形式のエラーログとして出力されます。

エラー検出された場合、個人番号対応表ファイルもしくは異動データを修正し、再送信ください。

表 5. 3. 1 異動データと個人番号対応表ファイルのチェック結果

ファイル名：DT\_IF006xxxxxxYYYYMM.csv

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

番号	項目名	設定値
1	エラーレベル	「クリティカルエラー」または「ケアエラー」を記載する。
2	データ元	チェック処理の基準となるファイルを記載する。 1：員番個人番号変換ファイル 2：異動データ（個人）
3	保険者番号	保険者番号を記載する。
4	被保険者証番号	被保険者証番号を記載する。
5	員番	員番を記載する。
6	個人番号	個人番号を記載する。
7	生年月日	生年月日を記載する。
8	性別	性別を記載する。
9	カナ氏名	カナ氏名を記載する。
10	エラー内容	チェック処理結果の内容を記載する。（P19 表 5.3.2 参照）

表5. 3. 2 異動データと個人番号対応表ファイルのエラー内容と対応

エラーレベル	エラーメッセージ	対応
クリティカル	個人番号対応表に存在している保険者番号・被保険者証番号・個人番号のレコードが異動データ（個人）内に存在しない。	該当する被保険者の個人番号情報を追加する。修正後、保険者 Web システムで異動データ、個人番号対応表を再送信する。
クリティカル	異動データ（個人）に存在している保険者番号・被保険者証番号・個人番号のレコードが個人番号対応表内に存在しない。	
ケア	個人番号対応表に存在している保険者番号・被保険者証番号・個人番号のレコードが異動データ（個人）内に存在しているが、生年月日・性別の両方が合致しない。	生年月日・性別の設定内容を確認し、正しく修正する。修正後、保険者 Web システムで異動データ、個人番号対応表を再送信する。
ケア	個人番号対応表に存在している保険者番号・被保険者証番号・個人番号のレコードが異動データ（個人）内に存在しているが、生年月日が合致しない。	
ケア	個人番号対応表に存在している保険者番号・被保険者証番号・個人番号のレコードが異動データ（個人）内に存在しているが、性別が合致しない。	

5. 4 レセプト、過誤・再審査、資格照合と個人番号対応表ファイルの関連チェック

本会の現行システムで保有しているレセプト、過誤・再審査、資格照合データから保険者番号、被保険者証番号、員番を検索キーとし、個人番号対応表ファイルに該当の被保険者情報の存在チェックを実施します。存在しなかった被保険者情報は、以下のフォーマットに従い CSV 形式のエラーログとして出力されます。

エラー検出された場合、個人番号対応表ファイルを修正し、再送信ください。

表 5. 4. 1 レセプト、過誤・再審査、資格照合と個人番号対応表ファイルのチェック

ファイル名：DT\_IF007xxxxxxYYYYMM.csv（レセプトと対応表の関連チェック）

ファイル名：DT\_IF008xxxxxxYYYYMM.csv（過誤・再審査と対応表の関連チェック）

ファイル名：DT\_IF009xxxxxxYYYYMM.csv（資格照合と対応表の関連チェック）

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）＋月（2桁）

番号	項目名	設定値
1	エラーレベル	「クリティカルエラー」または「ケアエラー」を記載する。
2	審査年月	チェック対象データの審査年月を記載する。
3	診療年月	チェック対象データの診療年月を記載する。
4	被保険者証番号	チェック対象データの被保険者証番号を記載する。
5	保険者番号	チェック対象データの保険者番号を記載する。
6	変換後被保険者証番号	証番号変換後の被保険者証番号を記載する。
7	員番	チェック対象データの員番を記載する。
8	個人番号	員番個人番号変換ファイルの個人番号を記載する。
9	生年月日	チェック対象データの生年月日を記載する。
10	性別	チェック対象データの性別を記載する。
11	カナ氏名	員番個人番号変換ファイルのカナ氏名を記載する。
12	エラー内容	チェック処理結果の内容を記載する。（P21 表 5. 4. 2 参照）

※ レセプト移行の過程で過誤・再審査、資格照合の結果を反映しながら移行を進める予定です。このためレセプトと併せ過誤・再審査、資格照合の情報についても対象被保険者情報の単純な存在チェックを実施し参考情報として提供します。過誤、資格照合のデータ中には、被保険者証番号誤りの場合のように必ずしも存在しえない被保険者証番号や被保険者情報が存在することが有り得ますので、これら被保険者情報がチェック結果として表示されることをご留意ください。

表5. 4. 2 レセプト、過誤・再審査、資格照合と個人番号対応表ファイルの  
エラー内容と対応

エラー レベル	エラーメッセージ	対応
クリティ カル	レセプト、過誤・再審査、資格照合に存在している保険者番号・被保険者証番号・員番のレコードが個人番号対応表内に存在しない。	該当する被保険者の個人番号情報を追加する。修正後、保険者 Web システムで個人番号対応表を再送信する。
ケア	レセプト、過誤・再審査、資格照合に存在している保険者番号・被保険者証番号・員番のレコードが個人番号対応表内に存在しているが、生年月日・性別の両方が合致しない。	生年月日・性別の設定内容を確認し、正しく修正する。修正後、保険者 Web システムで個人番号対応表を再送信する。
ケア	レセプト、過誤・再審査、資格照合に存在している保険者番号・被保険者証番号・員番のレコードが個人番号対応表内に存在しているが、生年月日が合致しない。	
ケア	レセプト、過誤・再審査、資格照合に存在している保険者番号・被保険者証番号・員番のレコードが個人番号対応表内に存在しているが、性別が合致しない。	

5. 5 レセプト、過誤・再審査、資格照合と異動データの相関チェック

本会の現行システムで保有しているレセプト、過誤・再審査、資格照合データから保険者番号、被保険者証番号、員番を検索キーとし、異動データに該当の被保険者情報の存在チェックを実施します。存在しなかった被保険者情報は、以下のフォーマットに従いCSV形式のエラーログとして出力されます。

エラー検出された場合、異動データを修正し、再送信ください。

※ エラーログファイル仕様およびエラー内容については、P 18 表 5. 3. 1 と同様となります。

5. 6 異動データ詳細チェック

国保総合システムに標準で実装される異動データ精査処理を実行し、異動データの詳細なチェックを実施します。エラーとなった被保険者情報は、CSV 形式のエラー帳票データとして出力されます。帳票出力のための制御情報が含まれておりますので、内容の確認方法について説明します。

ファイル名：DT\_IF003xxxxxxYYYYMM.csv

xxxxxx：保険者番号

YYYYMM：西暦年（4桁）+月（2桁）

- ① ファイルを開き、先頭より5番目の項目を参照します。  
5番目の項目が”D1”となっているものが参照いただくレコードです。  
その他のレコードについては、帳票印字用の制御レコードとなりますので無視してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	RP_KD00019999	3010022	132632	H1	RP_KD異動精査;共同処理種:様式第14:					2010119	0001999	コクホ				
2	RP_KD00019999	3010022	132632		北海道	201001										
3	RP_KD00019999	3010022	132632	D1	世帯	42170	国保	太郎		国保	太郎	コクホ	3010022	3010022	L0079400	1. 世帯情報;世帯区分の範囲チェック
4	RP_KD00019999	3010022	132632	D1	個人	42170			132632	国保	太郎	コクホ	3010022	3010022	K00F3900	2. 退職者高者の退職本人コードの関連チェック
5																

- ② エラーレコード（”D1”レコード）について内容を確認します。  
D1レコードの詳細なフォーマットについては、下記の通りとなります。  
エラーコードに対応する具体的なチェック内容については、「別紙 01 異動データ精査チェック内容」および「別紙 02 異動データ精査チェック内容（共通関数）」に記載しております。  
別紙のエラーCD欄で該当するエラーコードを検索いただき、チェック内容について確認ください。

表 5. 6. 1 D1 レコードの形式

項番	項目名	内容（補足）
1	帳票 ID	”RP_KDSK0002”を記載する。
2	保険者番号	保険者番号を記載する。
3	世帯管理番号	被保険者証番号を記載する。
4	個人管理番号	個人番号管理の場合：個人番号 員番管理の場合：被保険者証番号+員番
5	レコード識別情報	” D1”
6	レコード区分	世帯 or 個人
7	世帯番号	世帯番号を記載する。
8	世帯主氏名漢字	世帯主の漢字氏名を記載する。
9	個人番号	個人番号管理の場合：個人番号 員番管理の場合：員番
10	氏名漢字	漢字氏名を記載する。
11	被保険者証記号	被保険者証記号を記載する。
12	被保険者証番号	被保険者証番号を記載する。
13	氏名カナ	半角カナ氏名を記載する。
14	エラーコード	エラーコードを記載する。 例) K0009600 ※エラーコードの上位 6 桁を参照ください。 下位 2 桁は内部制御用となりますので無視してください
15	状態	1：クリティカルエラー 2：ケアエラー
16	エラー内容	エラーメッセージ内容を記載する。
・	・	・
・	・	・
・	・	・
38	保険者番号	改ページ条件を記載する。

③ 前記②のチェック内容と該当の異動データを参照いただき、修正箇所および修正内容の把握を行います。

④ 上記③の結果をもとに、異動データを修正してください。

# データ検証結果概要ファイル チェック結果報告

保険者番号	0001xxxx
保険者名	〇〇市
チェック対象期間	平成21年5月審査分～ 平成22年5月審査分

番号	項目名	件数
1	異動データ(世帯)入力件数	0件
2	異動データ(個人)入力件数	0件
3	個人番号対応表入力件数	0件
4	異動データ詳細チェック	0件
5	個人番号対応表フォーマットチェック	0件
6	個人番号対応表重複チェック	0件
7	異動データと個人番号対応表チェック	0件
		0件
8	個人番号対応表とレセプトチェック	0件
		0件
9	個人番号対応表と過誤・再審査チェック	0件
		0件
10	個人番号対応表と資格照合チェック	0件
		0件

※チェック対象期間とは、チェック処理で使用した現行連合会システムで保有しているレセプトデータの審査月を示しています。

※今回の検証結果については、外字の環境が整備されていない状態になっております。そのため、検証結果の内容で外字の部分についてはデルタ(Δ)に置き換わって表示されておりますのでご了承ください。  
なお、本番稼働時までには外字の環境が整備されますので、連合会にて規定した外字については正しく表示されることとなります。

保険者番号 “00019999”

保険者名 国保

**異動データ受入検証実施に関わる重要事項 必ず参照ください**

異動データ受入検証実施にあたり、ファイル形式誤り等の正常な検証が実行できないような誤りを検出した場合に下記に報告いたします。正常な検証を行うために訂正が必須となりますので、データ訂正後、再送ください。

例) 異常の場合

- ・異動データの改行コードがLFのみとなっております。CRLFに訂正ください。
- ・個人番号対応表のカナ氏名の文字コードが読み取れません。XXXXコードで報告ください。

例) 正常の場合

- ・重要事項の報告はありません。

**異動データ精査 チェックエラー一覧**

エラー総件数	15062	
エラー件数	エラーコード	エラー内容
2,037	K0047900	世帯情報.住所コード(発送用)の関連チェック
1,383	H0093601	限度額適用区分未設定チェック
1,383	H0096001	証区分未設定チェック
1,383	K0057801	限度額適用履歴.限度額適用認定証発効期日の関連日付チェック
1,383	K0059101	証管理履歴.交付年月日の関連日付チェック
1,383	K0059401	証管理履歴.有効期限の関連日付チェック
1,383	K0059701	証管理履歴.発効期日の関連日付チェック
1,383	K00F3001	第三者履歴.開始年月日の未設定チェック
1,383	RZZ00100	世帯レコードエラー時強制エラー
700	K0009600	世帯情報.行政区コードチェック
700	K0048101	世帯異動履歴.住所コード(発送用)の関連チェック
254	K00F3900	退職該当者の退職本人コードの関連チェック
144	R00F3600	被保険者がいるのに世帯主がいない場合のチェック(取得中以外)
77	K0010800	個人情報.生年月日(年齢75歳)とデータ区分の関連チェック
33	K00E5800	制度の関連チェック
31	K0010900	個人情報.生年月日(年齢75歳)と国保喪失年月日の関連チェック
8	K0008700	退職被扶養者がいるのに退職本人がいない場合のチェック
2	K0003300	個人情報.国保取得届出日が生年月日より前
2	K0003200	個人情報.国保取得年月日が生年月日より前
1	L0013800	郵便番号(管理用)の形式チェック
1	L0047401	世帯異動履歴.郵便番号(管理用)の形式チェック
1	H0014200	番地(管理用)の未設定チェック
1	L00E4700	番地(発送用)の未設定チェック
1	K0011700	個人情報.続柄と国保取得事由、世帯主区分の関連チェック
1	K00D4200	被保険者がいるのに世帯主がいない場合のチェック
1	K0013001	個人異動履歴.続柄と国保取得事由、世帯主区分の関連チェック
1	L00E4500	国保取得届出日(擬主以外)の関連日付チェック
1	L00E4600	国保取得年月日(擬主以外)の関連日付チェック
1	L0078900	変更事由(個人用)の範囲チェック